

第4回 多文化子育てサークル@知立市 報告

第3回 多文化子育てサークル@豊田市

愛知県多文化共生推進室では今年度、知立市と豊田市の2カ所で「多文化子育てサークル」を実施しています。知立市では「NPO 法人 みらい」、豊田市では「NPO 法人 トルシーダ」事業を受託し、実施しています。

10月28日（土）、知立市にて第4回目、豊田市にて第3回目のサークルが開催されました。

知立市のサークルは、いつも以上に盛りだくさんの内容でした。まず、地域の保育園の先生方がお越しくださり、お手玉や童謡など、日本ならではの親子遊びについて教えてくださいました。その後、ハロウィンの帽子作りをして、子どもたちは自分のハロウィン帽子に思い思いの飾り付けを楽しんでいました。また、愛知医科大学の看護学部の先生から、インフルエンザなど冬の子どもの病気の症状と対策について教えてもらいました。子どもがぐったりして動かないなど、緊急時に利用できる休日・夜間診療所についてのお話しもしていただき、親御さんたちは真剣な表情で話しを聞いていました。

今回印象的だったのは、スタッフも含めて50人弱もの参加者が来てくれたことでした。知立東小学校が児童へのちらし配布に協力してくださり、それを見た保護者が児童の弟妹を連れてサークルに来てくれたようです。また、知立市も市内保育園へのちらし配布に御協力くださいました。こんなに大勢の参加者がいらしゃったのは初めてで、スタッフの方も驚いていました。

また、豊田市のサークルでは保見交流館の調理室をお借りし、参加者の方々に出身国のおやつを作ってもらいました。出身国ごとのグループをつくっておやつを調理したのですが、他のグループのおやつ調理の進捗状況を見に行ったり、手が必要なときにお互いの調理台を行き来して手伝ったりと、グループ間の交流が盛んだったのが印象的でした。おやつ作りの後は、参加者でおやつを食べながら、子どもにとっての「おやつ」の必要性について栄養士の方から指導いただきました。成長期の子どもには、1日3回の食事だけでは足りないらしく、「おやつ」も栄養素を補うために大切な食事だそうです。一般に売っているおやつ選び方や、ジュースを飲み過ぎる危険性（糖分採り過ぎ）についてのお話しもありました（講義の後、さっそく子どもに「コーラ禁止」をしているお母さんがいました。).

今回、豊田市でも、知立市と同じくらい大勢の方が参加してくださいました。トルシーダの伊東さんによると、今回のように外国人自身が「自分の文化を発信する」趣旨のイベントは、参加者の意気込みがちがうとのこと。また、他のスタッフの方も、本事業に限らず食べ物を作るイベントは人気で参加者が集まることが多いと教えてくださいました。また、今回からは豊田市役所の関係課もちらしの配架に協力くださっていたので、その効果もあったかもしれません。

今回、知立市でも豊田市でも予想外の参加者数で、県職員もスタッフの皆さんも喜んでいたのですが、運営面では若干の困難も発生しました。例えば豊田市では、第7回目までの開催場所をすでに予約していたのですが、これほどたくさんの参加者を想定していない場所もあり、開催場所を見直す必要が出てきました。また NPO 法人みらいのオチさん曰く、参加者が多すぎると一人ひとりへのきめ細かい対応が難しくなるとのこと。知立市でも豊田市でも、参加者が気軽に来られるよう事前申込は不要としていて、当日まで参加者数を予測・制限できないということもあり、こういったデメリットが生まれてしまうようです。

県でも各種のイベントを開催することがありますが、基本的には定員を決めて事前申込制とし、定員を超えれば参加をお断りすることになっているので、このような問題が発生すること自体がなく、今回のことはとても参考になりました。今後サークルを県内に普及していくためのマニュアルなどで、この問題点についても記載できればと思いました（良い対策方法をご存じの方は、ぜひ御教授いただけましたら幸いです。).

さて、次回のサークルは豊田市で11月18日（土）14:00~16:00、知立市で11月25日（土）10:30~13:00に開催します。ひと組でも多くの外国人親子に参加いただければと思っておりますので、周りにそういう方がおられる方は、ぜひとも周知に御協力ください。

詳細、チラシについては、以下のウェブサイトでご確認ください。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/kosodate-circle.html>



